

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	文化に関する表彰式の開催	スポーツ・生涯学習課	市の文化の向上及び発展に関して特に顕著な功績を上げた方々を表彰することにより、当市の文化の振興を図る。	文化協会等関係各機関 125団体へ推薦依頼等により、5名の推薦があった。委員7名による表彰審査会を開催し、意見を伺い各賞を決定した。 文化功労賞 菅原 ウメ、大山 祐子 計2名	223,952	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●若年層への受賞をうながす手法を検討する必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ●文化賞、文化奨励賞共に該当者がなく、引き続き若年層への受賞をうながす手法を検討する必要がある。	A	継続
		市民文化祭の開催	スポーツ・生涯学習課	市民の文化活動を一堂に集め、その公演・展示の場として文化祭を開催することにより、様々な分野や世代を超えた交流を深めると共に、相互の連携を図りながら当市の文化の向上及び活性化を図る。	・オープニングセレモニー (11月5日 10:10~ 文化センター 大ホール) イングリッシュハンドベル「カリヨン」の演奏 ほか ・舞台部門…26団体 (11月5日~6日) 秋のスペシャルコンサート、舞と躍動、吟詠、謡と仕舞、落語 ・展示部門…16団体 個人…9人 (11月5日~6日) 写真展、書道展、水墨画展、文芸展、美術展、手工芸展、陶芸展、蘭展、いけ花展 ほか	722,000	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●コロナ禍における安全安心な開催方法を検討する必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍であったが、感染症等に留意し、開催することができた。 ●実行委員、参加者が高齢化してきているため、若年層の取り込みが必要。	A	継続
		ジュニアオーケストラ十和田定期演奏会	スポーツ・生涯学習課	演奏活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の音楽に対する関心を高め、文化の振興を図る。	ジュニアオーケストラ十和田第18回定期演奏会 (入場無料) 【プログラム】 おもちゃのシンフォニー シンコパйтеッド・クロック ほか	183,000	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●引き続き、団員の増と定期演奏会の充実を支援していく必要がある。 ●コロナ禍における安全安心な開催方法を検討する必要がある。 <令和3年度の成果と課題> ○若年演奏家の演奏の育成と市民に芸術鑑賞機会を提供することができた。 ●団員の増及び自主的な運営について指導していく必要がある。	A	継続
		十和田市子ども劇団公演	スポーツ・生涯学習課	子ども劇団の育成を通じて、児童生徒の創造性と豊かな感性を育むとともに、文化の振興を図る。	演目:朗読劇 「お〜いでてこ〜い」「スイミー」「冬きたりなば」「百万回生きたねこ」 入場料:無料 委託先:十和田市子ども劇団育成会 会長 工藤 秀信	697,059	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●入場者増の取り組みや、劇団の魅力発信に取り組んでいく必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍で入場制限を行った上での開催となったが、十分に対策を講じた上で実施した。 ○青少年の育成及び質の高い演劇を市民に提供し、好評を得ることができた。 ●引き続き、入場者増の取り組みや、劇団の魅力発信に取り組みを支援していく。	A	継続
	<委員からの意見等> ・子ども劇団とジュニアオーケストラを一つの事業にまとめることで、事業費が抑えられて、集客も見込めるのであれば、そういう工夫も必要かなと思う。								
		十和田市民合唱祭	スポーツ・生涯学習課	市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化に対する関心を高め、文化の振興を図る。	十和田市民合唱祭 入場料:無料 参加団体:南小学校合唱部、三本木小学校合唱、コーラアゼリア、コーラス四季、とわだ混声合唱団	115,940	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●コロナ禍における安全安心な開催方法を検討する。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍での開催であったが、好評であったため次年度以降も補助を続けていきたい。 ●出演者の高齢化により、支えが必要な方や平台・指揮台に上がれない方が増えてきた。サポートが必要である。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	十和田市演奏会事業	スポーツ・生涯学習課	市民にクラシック音楽等の鑑賞機会を提供し、心豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。	第20回記念公演ゼルコバアンサンブルコンサート(入場無料) 【プログラム】 ・ゼルコバアンサンブル22年を振り返って(トトロメドレー、めぐる季節ほか) ・アストル・ピアソラ没後30周年(リベルタンゴほか) ・朗読と共に(ゼロ弾きのゴーシュ) ・ゲストを迎えて(ジュピター)、アンコール	275,000	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●コロナ禍における安全安心な開催方法を検討する必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍での開催であったが、好評であったため次年度以降も補助を続けていきたい。 ●より自主的な運営について指導していく必要がある。	A	継続
		第三ステージ支援事業	スポーツ・生涯学習課	文化センターの空き施設を無償で提供することにより、施設の有効活用を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与する。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	—	継続
	2. 文化財の保存、継承、活用	文化財パトロールの実施	スポーツ・生涯学習課	市内に所在する史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地の保存状況や現況を把握するため。	青森県教育庁文化財保護課で実施している文化財パトロール事業と共催する形で行っている。本年は文化財保護指導員丸慶一氏、佐々木秀一氏の2名で14日間、市内48ヶ所の遺跡等のパトロールを実施した。	0	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●文化財保護指導員も高齢化になってきたため、後継者の選定が必要となる。 <令和4年度の成果と課題> ○調査の結果、埋蔵文化財包蔵地について無届の土木工事等は確認されなかった。 ●委員のスキルアップを支援していく必要がある。	A	継続
				<委員からの意見等> ・文化財保護指導員2名は、県から謝礼が出ているため、市の費用負担はないのか。 【スポーツ・生涯学習課回答】パトロールの謝礼は県が負担していますが、市の文化財ですので共同で事業を進めています。 ・後継者の選定はどうか。 【スポーツ・生涯学習課回答】後継者が少なく苦慮していますが、今年度は文化財に興味を持たれてボランティアをやっていた方に担っていただきました。					
		伝統芸能まつり開催	スポーツ・生涯学習課	県及び市の文化財に指定されている市内の伝統芸能を広く市民に鑑賞してもらうことにより、文化財愛護精神を普及させる。また、民俗芸能の実演機会を設けることにより、伝承活動の活発化と後継者の育成を図る。	事業等の概要 伝統芸能まつりについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に留意しつつ、3年ぶりに開催した。	0	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●伝統芸能の継承のため重要な場であることから事業を継続していく必要がある ●コロナ禍における安全安心な開催方法を検討する必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ●伝統芸能の継承のため重要な場であることから引き続き事業を継続していく必要がある ○コロナ禍後を見据え、感染症等に留意しつつ、伝統芸能まつりを開催することができた。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	2. 文化財の保存、継承、活用	郷土館企画展及び移動郷土館の実施	スポーツ・生涯学習課	博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究をするとともに、郷土の歴史及び文化を深く理解してもらう。	(企画展) 企画展「奥州街道展」(来館者332名) 会期 令和4年9月17日～11月20日 (移動郷土館) 小学校12校 児童438名 (常設展示) 市内の遺跡から出土した考古資料や、江戸時代の古文書、民具、馬具、機織り機、軍馬補充部関連の資料を展示。	6,267,552	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●来館者を増やす方策を考える必要がある。 <令和3年度の成果と課題> ○新型コロナウイルス感染症による休館はなく、来館者は前年度より増加した。 ●引き続き、市民の来館者を増やす方策を考える必要がある。	A	継続
		十和田湖民俗資料館事業	スポーツ・生涯学習課	貴重な民俗資料を保管、公開し、郷土の歴史、文化についての理解を深めるとともに、見学体験事業を展開するなど学習機会の提供に努める。	・郷土資料の展示、保存・活用 国指定重要文化財・旧笠石家住宅の公開・保全と、地域住民から寄贈された民俗資料(農林水産業の道具、衣類、食器、家具等)の展示・保存・活用 ・子ども見学体験事業 主に小学校児童を対象とした、旧笠石家住宅や館蔵資料を活用した昔の暮らし体験事業を実施。小学校5校(233名)	3,872,054	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●旧笠石家住宅の屋根の改修等については、歴史館も含め考えていく必要があり、庁内、文化庁との協議を行う必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○十和田市の昔の暮らしについて市民、観光客に広く周知できた。 ●旧笠石家住宅の屋根の改修等については、文化庁と協議を行う。	A	継続